

Smile 通信



埼玉県住まいづくり協議会

平成29年10月 編集・発行／埼玉県住まいづくり協議会

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町630 埼玉県住宅供給公社 住まい相談プラザ内

TEL 048-830-0033 ホームページアドレス <http://www.sahn.jp/>



紅葉の睡足軒(写真提供・新座市教育委員会)

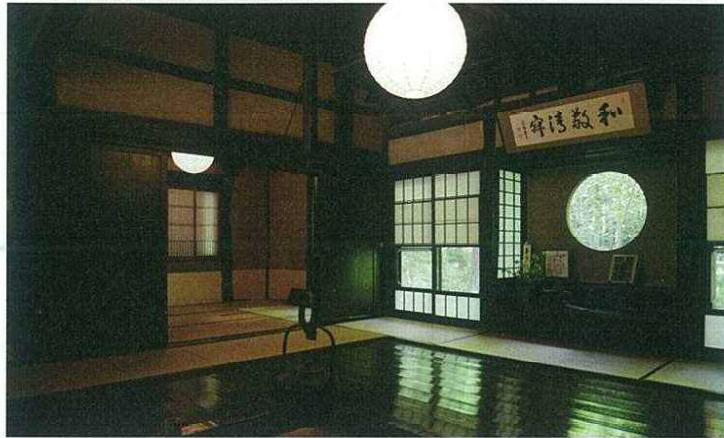
contents

埼玉のまち 第10回 松永耳庵の睡足軒(新座市)と柳瀬荘(所沢市) … 表紙、2~3頁
第13回 埼玉住み心地の良いまち大賞 発表 … 4~5頁
第69回 リフォーム講習会開催 特別講演 … 6頁
安心中古住宅登録制度 … 7頁
平成29年度 住宅施策研究会及び理事懇談会 … 7頁
平成29年度「住生活月間」地方公共団体関連行事一覧 … 7頁
平成29年度 住生活月間シンポジウム … 8頁

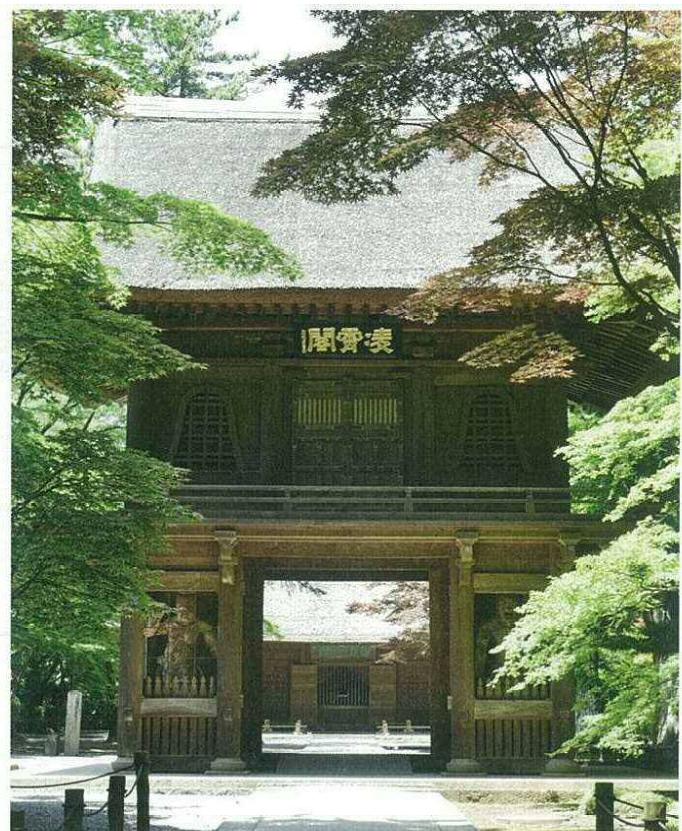
埼玉のまち 暮らしの知恵・再発見の散歩

第10回 松永耳庵の睡足軒 (新座市)と柳瀬荘(所沢市)

数寄者としての放胆自在な〈和〉の建築美



②睡足軒の室内(写真提供・新座市教育委員会)



①平林寺の山門(写真提供・金鳳山平林寺)

野火止用水と平林寺

埼玉県で武藏野の自然を色濃く残しているのが新座市野火止の地域。市内を流れる野火止用水は承応4(1655)年に川越藩主であった松平伊豆守信綱が家臣に命じて玉川上水から引いたという。

平林寺(埼玉県新座市野火止3-1-1)もまた信綱一族の菩提寺としてゆかり深く、寛文3(1663)年に信綱の遺志を継いだ子輝綱によって、岩槻から現在の野火止に移転されている。拝観受付のある総門から平林寺の境内に入れば、一直線に山門、仏殿、中門と続き、その茅葺の屋根が美しい。境内林は約43ヘクタールで国の天然記念物に指定されており、野火止用水(平林寺堀)も境内を流れ、散策の目を楽しませてくれる。野火止の地は江戸時代から続く武藏野の自然の宝庫である。①

埼玉に股柱を使った 奥飛騨の建物があるのは貴重

平林寺大門通りを挟んで平林寺向かいの「睡足軒の森」には、松永安左工門が移築して茶の湯を楽しんだ睡足軒(すいそくけん)がある。松永安左工門は明治8(1875)年、長崎県壱岐の生まれ。戦前、戦後を通して電力事業に身をさげ、「日本の電力王」と呼ばれた財界人であり、政治家でもあった。茶人としても耳庵(じあん)の号で知られている。昭和46(1971)年、死去。享年95歳。

新座市教育委員会の資料によると、睡足軒は雪国(飛騨地方)にあった江戸時代中期から後期の建物と推定されている。その建物を山中定次郎という古美術商が買い付け京都に移築、それを建築家の仰木魯堂が購入し、さらに耳庵が譲り受けた野火止に移したという(耳庵著「茶道三年」よ

り)。それが昭和13(1938)年のことで、耳庵が茶の道に入って3年目の63歳の時である。

〈お茶を始めてからヤツト一年、別に師匠はない。諸方で招かれて茶席に列なり何時の間にか味を覚えたといふにふがないのだから、威張つた事は言へないけれど、お茶なるものはこの程度がよい。寧ろ眞諦に触れてゐるのでないかと思ふ。〉(松永安左工門「素人の茶道」から)

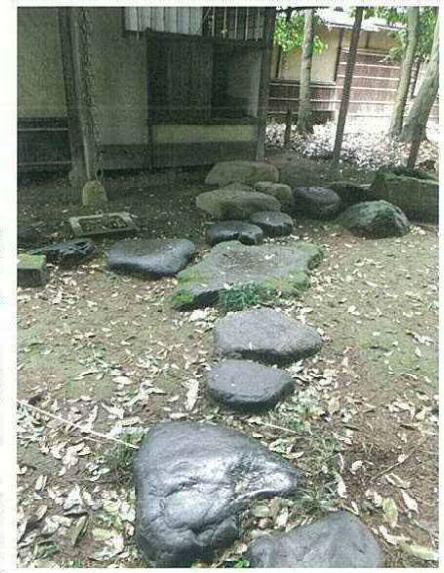
と、耳庵の我流で素朴で自然でしかも自由奔放な茶の湯を楽しんだ。茶室もまた自由奔放に楽しんだようだ。

まずは睡足軒に入らせてもらおう。睡足軒は平成28年(2016)年に国の有形登録文化財(建造物)に指定されている。

玄関から中に入ると板間の広間(3間×5間ほど)の中央には団炉裏があり、板間の周縁に畳を置いてある。その広間を挟んで左右に6畳間がそれぞれ2つあるという広間型の間取りである。部屋にはそれぞれ名前が付けられていて、左手にダイドコロと櫟庵(くぬぎあん)、右手奥は炉を構えて茶を楽しんだ耳庵席、そして水屋である。

広間の正面は月を表す大きな円窓(えんそう)があり、四季折々、外の移り変わる景色が映し出される。この団炉裏と板間と円窓のフォルムは美しい。②

その広間の空間は真ん中に柱も壁もなく、まさに大空間。天井も高いが、太い梁を十字に組み(十字梁)、さらに湾曲した手斧梁(ちょうなばり)にすることで天井を高くし、柱も省略できたようだ。さらに「妻側の柱には二股に分かれた木の股柱(またばしら)を使うことで、天井を高くし、強度を高めている」と、京都御所、彦根城など国宝・重要文化財保存修理をし、平林寺総門、山門、仏殿の改修と睡足軒の調査を行った株式会社西澤工務店(本社・滋賀県)の西澤央泰氏は言う。③「十字梁や股柱を使った奥飛騨の建物は全国でも珍しく、それが埼玉にあるのは貴重な存在です。」



⑦露地も楽しみたい（柳瀬荘）



⑥下地窓・蔀戸のある「久木庵」（柳瀬荘）

大きな梁から目を落として柱を見れば、たくさん穴（あな）があるのだ。奥飛騨にあったその頃の民家のダイドコロ部分は馬屋であり、その先の櫟庵席は土間であったようだ。出入りはその土間からだったようだ。柱にあいている無数の穴は馬を繋ぐ柵をはめ込んでいた痕なのである。④

その穴がいい。耳庵が大きな梁に惚れ、柱の穴の美しさに惚れたとしてもうなずける美がそこにはあった。西澤氏はこういう。「耳庵が晩年に過ごした老樺荘（ろうきょそう、神奈川県小田原市板橋）にも穴があいた柱が使われています。好きだったんでしょうね。」

野火止の睡足軒は奥飛騨の民家を移築し、美しく大改造した昭和の初めのリノベーションだったのである。

江戸初期の茶室や 数寄屋風書院造りのある柳瀬荘

耳庵の草庵というと小田原の老樺荘、上野の東京国立博物館にある春草蘆（しゅんそうろ）などもある。春草蘆というと横浜三渙園にある織田有樂斎の茶室が有名だが、こちらは江戸時代初期に政商の河村瑞賢が摂津淀川改修工事の際に建てた休憩所という。その建物を昭和12（1937）年に埼玉県所沢市板之下にある耳庵の柳瀬荘内に移築、その後、柳瀬荘を東京国立博物館に寄贈したため、春草蘆は上野に移築されたのである。

その春草蘆のあった柳瀬荘は耳庵の別荘だった。5000坪以上もある静かな森の中に現在3つの建物がある。江戸天保期の庄屋の家（東京都東久留米市）を昭和5（1930）年に譲り受けた大きな民家が「黄林閣（おうりんか

く）」（重要文化財）。太い梁と高い天井が見事だ。

そして、渡り廊下で繋がるのは、数寄屋風書院造りの「斜月亭」（しゃげつい）。8畳の上の間、6畳の次の間と縁座敷（5畳）で構成されている。昭和13年から14年にかけて造られたといふから睡足軒が移築されたのと同じ時期である。

さらに廊下を繋いでいま一つ、茶室と水屋がある。造られたのは斜月亭と同じ時期で、「久木庵」（きゅうくあん）といふ。江戸時代初期の越後の武士の茶室の材料で建て替えた。茶室は二畳台目（にじょうだいめ。2畳の客座と1畳の4分の3の台目畳）と小さい、水屋は4畳ほどだ。⑤

二畳台目といふのは利休の茶室の原点であるが、壁を塗り残したままにして下地の小舞（格子状の竹）が見える下地窓と蔀戸（しとみど）のある開口部などを見ていると鴨長明の方丈（1丈四方の部屋）を思い浮かべた。⑥

利休の闇、織部の光と言われるが、この茶室は全体に光を抑えており、利休の流れだ。出入りは躊躇（にじりぐち。潜り）である。杉の面皮柱、竿縁天井、露地（茶庭）など見どころが多い茶室である。⑦

和風見直しの動きがあるので、数寄者として放胆自在に〈和〉の建築を楽しんだ耳庵の草庵や茶室——、そこから学ぶものは多い。（住宅ジャーナリスト・岡田憲治）

☆お詫びと訂正：前号（68号）の「埼玉のまち」の記事の表記に間違いがありました。

表紙と第2頁にある「東秩父村 紙の里」は「東秩父村 和紙の里」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

埼玉県知事賞に桐山春香さん 「今こそ下りたい坂がある

～見晴らしのよい歴史ある「南区の坂」を翔け抜けよう！～

第13回
埼玉住み心地の
良いまち大賞



埼玉県知事賞

「今こそ下りたい坂がある
～見晴らしのよい歴史ある「南区の坂」
を翔け抜けよう！～」

桐山春香さん(中学2年生)

埼玉県教育委員会教育長賞

「別所沼公園 ラジオ体操」
代田義明さん(中学1年生)

第13回埼玉住み心地の良いまち大賞の審査委員会が9月22日にさいたま市浦和区で実施されました。

今年は、1,854点もの応募があり、これら多くの応募作品の中から、埼玉県知事賞、埼玉県教育委員会教育長賞を各1点、埼玉県住まいづくり協議会会長賞、審査委員長賞を各2点、優秀賞を30点、協賛企業賞を30点、合計66点の作品が選出されました。また、数多くの作品を出展された埼玉大学教育学部

附属中学校、さいたま市立植竹中学校、川口市立南中学校に優秀団体賞が贈られることになりました。

入選作品の展示は、10月13日に、浦和コルソ7階ホールで開催される「住生活月間シンポジウム」の会場で、11月6日～12月22日に、埼玉県住宅供給公社1階(さいたま市浦和区)で、平成30年1月15～26日には埼玉県庁渡り廊下で行います。





埼玉県住まいづくり協議会長賞（小学生部門）

「つるがしま～小川町えきまでの住んで
みたいえきさがしの自転車の旅」
新井陽大さん（小学3年生）



審査委員長賞（小学生部門）

「盆栽ここがすごい!!」

岩崎優人さん（小学6年生）



埼玉県住まいづくり協議会長賞（中学生部門）

「おいでよ!いも街道」
石崎めいさん（中学3年生）



審査委員長賞（中学生部門）

「浦和音マップ」

篠崎百音さん（中学2年生）

第13回埼玉住み心地の良いまち大賞 講評

今年は花咲徳栄高校が埼玉県勢で初の夏の甲子園優勝という大変嬉しいニュースがありました。

今後、サッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックと国際的なスポーツイベントが控えており、本県ゆかりの選手が活躍することを心から楽しみにしております。

さて、今年度の応募作品も、今までになかった新しい切り口からまちを表現した作品や、自分の住むまちを積極的な手法で調べた作品が多数ありました。このような、自分たちが慣れ親しんでいるまちを少し違う角度から見る経験は、まちの良さを再発見するうえでとても有意義なものになると思います。

「第13回埼玉住み心地の良いまち大賞」で埼玉県知事賞に選ばれた作品は、桐山春香さん（中学2年生）の「今こそ下りたい坂がある～見晴らしのよい歴史ある「南区の坂」を翔け抜けよう!～」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、代田義明さん（中学1年生）の「別所沼公園 ラジオ体操」、協議会長賞に、新井陽大さん（小学3年生）の「つるがしま～小川町えきまでの住んでみたいえきさがしの自転車の旅」、石崎めいさん（中学3年生）の「おいでよ!いも街道」、そして審査委員長賞には、岩崎優人さん（小学6年生）の「盆栽ここがすごい!!」、篠崎百音さん（中学2年生）の「浦和音マップ」が選ばれました。

埼玉県知事賞に選ばれた桐山さんの作品は、「坂」という切り口からまちを見るといった新鮮な視点であり、坂の名前の由来やデータを調べるだけでなく、実際に自ら走ってみると、非常によく調べられた作品でした。

埼玉県教育委員会教育長賞に選ばれた代田さんの作品は、

実際に別所沼公園でラジオ体操を行っている方にインタビューを行い、世代の違う人たちに語りかけるという積極性を感じられました。

協議会長賞に選ばれた新井さんの作品は、手作り感が非常に強く、親子との会話を楽しみながら、自転車で旅をしたことが分かる作品でした。また、石崎さんの作品は、デザインが非常に素晴らしい、また、まちの農業の源流となった農法を気づかせてくれる作品となりました。

審査委員長賞に選ばれた岩崎さんの作品は盆栽に関する初心者の情報のまとめとして上手くまとまっており、紙面のレイアウトも安心感がある魅せ方となっていました。篠崎さんの作品は、「見るだけでなく、聞くというところで、まちを楽しむ」という、これまでにない視点からまちをみる作品でした。

埼玉住み心地の良いまち大賞は、平成17年の第1回目から今年の第13回目までに、13,545点のご応募をいただきました。これは、埼玉が魅力溢れるところであることを示すものです。そして、なにより作成者が発見した「良いまち」を私たちに届けてくださる小学校、中学校の先生や親御様、協賛企業の皆様のご支援・ご協力があってこの結果です。

これからも、埼玉県住まいづくり協議会の活動への理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

審査委員長
埼玉新聞社代表取締役 小川 秀樹

「連續震度7でも倒壊しない」構造設計とは？

住宅リフォーム推進委員会

【講義内容】

- 第1部 「木造住宅の構造ブロックと架構設計における耐震設計指針」
 第2部 木造住宅の直下率算定 実地トレーニング研修講師
 村上木構造デザイン室（一社）木造住宅デザイン研究会 ユア・デザインホーム 代表 村上 淳史

8月の暑中にも関わらず64名の講習参加者があり会場はほぼ満席になりました。若い実務者や女性受講者が多数参加、「建築基準法で規定されている設計と施工の条件の双方を満たしている構造設計にも関わらず地震によってなぜ住宅は倒壊してしまうのか？」という疑問に対する関心の高さが窺えました。

第一部では、建築基準法で規定されているが見落としがちな点を取り上げ、実務に携わる設計者が基本的な業務に必要となる知識の講義が行われました。

**四号建築物の仕様規定
(建築基準法施行令第三章第三節)**

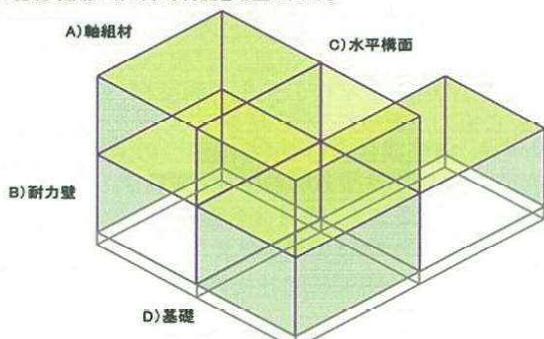
3つの計算と8つの仕様ルール

- | | |
|--|--|
| 3つの計算 | ・壁量の確保(壁量計算)
・壁配置のバランス(四分割法)
・縦手、仕口の接合方法(N値計算等) |
| 8つの仕様ルール | ・基礎の仕様
・屋根葺き材等の繋結
・土台と基礎の繋結
・柱の小怪等
・横架材の欠き込み
・筋進の仕様 |
| <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法仕様規定(壁量設計)では梁成に関しては品質担保が必ずしも十分でない。 住宅性能表示制度仕様規定(壁量設計)では、短期の集中荷重のある梁成に関しては品質担保が必ずしも十分でない 許容応力度計算法では梁成の検討が行われるが、梁組に関する検討は必要とされていない。 | |

意匠の基本計画段階で梁成・梁組を考慮した構造の基本計画～架構設計を行うことが重要

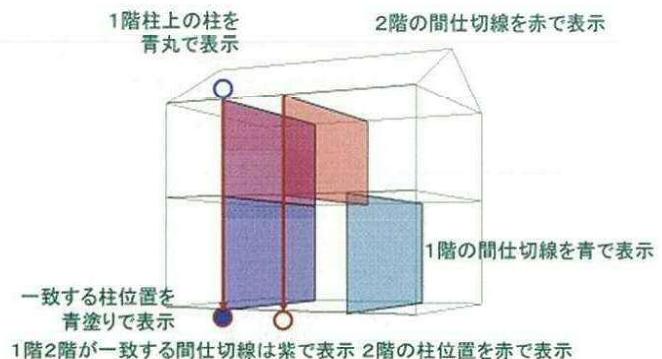
木造住宅の架構とは

- A)軸組材：柱と横架材でフレームを構成する
- B)耐力壁：地震力・風圧力に抵抗する
- C)水平構面：地震力・風圧力を耐力壁に伝達する
- D)基礎：建物に作用する荷重を地盤に伝える



第二部では、木造住宅の構造計画としての、「直下率」(1階、2階部分の柱・壁の上下に一致する充足率)を簡易的に求めました。定期講習会では初となる実習研修となりました。

チェック図の内容



(直下率の簡易的なチェックについて)

直下率は、ピンクのマーカーとブルーのマーカーと赤青色鉛筆を使います。2階の間仕切り壁をピンクのマーカーで、1階の間仕切り壁をブルーのマーカーを使って色分けし、紫色になっているところは1、2階に間仕切り壁が通っているということになります。

2階の柱を赤丸で、1階まで通っているものは中を青く塗ります。更に、2階の平面図に1、2階通っている柱に青丸を付けます。つまり、青丸のついているものは1階まで柱が通っていること、一方で、青丸のついてないものは梁で柱を受けているということになります。単純に四角い部屋が多い図面は、問題ないように見えますが、このようにチェック図を描くと状況が把握できます。1、2階を重ねて設計することを意識するのは当然とは思いますが、結果はその通りとなっていないと思います。

(最後に)

現代では、IT化がすすみ、複雑な計算はコンピューターが自動で計算してくれる時代です。構造計算は複雑ですのでコンピューターによる計算は必須です。しかし、デジタルに余りにも頼るのは「勘所」を失いかねません。

「勘所」というのは、一朝一夕では身につきません。この業界だけでなく、あるゆる方面において「職人」、「師匠」と呼ばれる方は、限って高齢に近い方です。一人前になるには、それ相当の経験と気概が必要であり、更に進化を求めて「現場」へ立ち続けることなのでしょう。知識を学んだら必ず実践の場で何度も繰り返して鍛錬を積むことが大事です。最も恐ろしいことは、地震によって「住宅」が「凶器」になってしまうことです。私達が設計・施工した家で、そこに住む県民の生活者様が健康で快適に暮らせるよう、実務者を対象とした実践的な研修等を今後も定期的に実施することを予定しています。

安心中古住宅登録制度

少子高齢化、人口減少、空き家の増加など社会構造が変化するなかで、既存住宅の流通を促進することは、良質な居住環境を維持するための必須課題となっております。

一般消費者は住宅を購入する際に、品質・保証、アフターメンテナンス等を重視する傾向にあるため、既存住宅の流通を促進するためには、一般消費者の抱える既存住宅への不安を解消する必要があります。

しかしながら、一般消費者にとって、既存住宅の品質等を確認しようとしても、専門性が高いため、一様に判断ができない傾向にあります。住宅瑕疵担保責任保険等の制度もありますが、これらを総合的に活用するには、消費者自身の相当な努力が必要であり、アフターメンテナンスについても、新築住宅と同様のものを求めるることは難しいのが現状です。

そこで、良質な既存住宅を分かりやすく明示し、消費者に安心感を付与することを目的とした「安心中古住宅登録制度」を平成28年度に創設しました。

具体的には住宅事業者が買取り再販する県下の戸建て住宅のうち、①住宅瑕疵担保責任保険の加入等②アフターメンテナンス窓口の設置③新耐震基準への適合確認の必須要件を満たす物件を安心中古住宅として登録し、広告宣伝にも利用できる認定マークを付与します。合わせて、専用のホームページに、登録物件の詳細情報の掲示を行うことで、既存住宅の流通促進を図る取組です。

これまで戸建て住宅に限定した制度でしたが、10月から制度を拡充し、マンションを取り扱うことになりました。

本制度を利用するには、事業者の登録申請(本協議会の加入条件等あり)が必要となります。ご興味を持たれましたら、気軽に事務局までお問い合わせください。

平成29年度 住宅施策研究会及び理事懇談会

埼玉県住まいづくり協議会の平成29年度第1回住宅施策研究会及び理事懇談会が、平成29年9月1日(金)にホテルブリランテ武蔵野(さいたま新都心)において開催されました。風間会長をはじめとする理事・役員、オブザーバーとして各部会・専門委員会の部会長・委員長他総勢30名が出席しました。

第1部の住宅施策研究会では埼玉県都市整備部住宅課長柳沢様から、昨年度見直しを行った「埼玉県住生活基本計画」を用いて、埼玉県の住宅政策の基本方針について説明がありました。

協議会の活動状況については、各部会・専門委員会の活動報告がなされ、「会員の増強について」の意見等がありました。



平成29年度「住生活月間」地方公共団体関連行事一覧

「安全で快適な家づくり」無料建築相談

期 間：10月14日(土)
テ マ：建築相談を通じて、より安全で快適な家づくりの普及及び促進を図る
主 催：川口市都市計画部、(一社)埼玉県建築士事務所協会
後 援：川口市消防局
行事概要：建築相談

マンション管理セミナー & 無料相談会

期 間：10月28日(土)
主 催：(一社)埼玉県マンション管理士会
後 援：川口市、埼玉県、埼玉県マンション居住支援ネットワーク、(一社)日本マンション管理士連合会
行事概要：マンション管理に関する講演・マンション管理相談

川口市マンション管理基礎セミナー

期 間：10月21日(土)
テ マ：民泊新法と管理組合の対応策等
主 催：埼玉県マンション居住支援ネットワーク、埼玉県、川口市、戸田市、蕨市、(公財)マンション管理センター
行事概要：マンション管理に関する講演、相談会

熊谷市マンション管理基礎セミナー

期 間：10月21日(土)
テ マ：管理組合の運営について等
主 催：埼玉県マンション居住支援ネットワーク、埼玉県、熊谷市、(公財)マンション管理センター
行事概要：マンション管理に関する講演、相談会

☆行事の詳細については、主催団体等のホームページをご覧ください。



10月は住生活月間

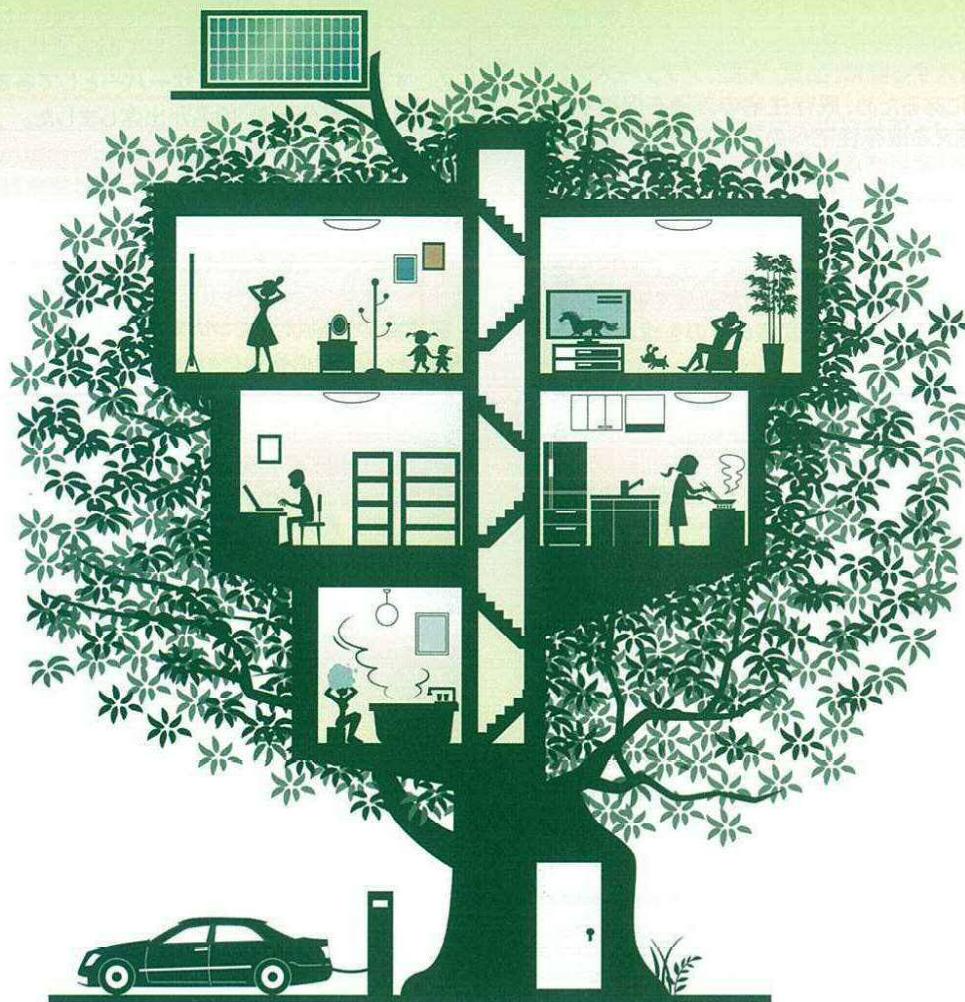
平成29年度

住生活月間シンポジウム

同時開催

- 「第13回 埼玉県環境住宅賞」入選作品展
- 「第4回 埼玉県住み心地の良いまち大賞」入選作品展

入場
無料



平成29年
10月13日(金)
コルソホール

浦和コルソ7F (JR浦和駅西口正面)

13:30~16:30 (開場13:00)

コルソホールは地下に駐車場がありますが有料です。
ご利用の方は各自でご負担ください。

第1部



老いる家 崩れる街
～住宅過剰社会からの
脱却に向けて～

東洋大学教授 野澤 千絵氏

第2部



幼児から高齢者まで
健康に過ごせる暖かな
木の住まいの調査速報

慶應義塾大学教授 伊香賀 俊治氏

[お問い合わせ・申し込み先]事務局(住まい相談プラザ内) **TEL 048-830-0033**

※受付時間 10:00~12:00、13:00~18:30

後援: 国土交通省／埼玉県／(独)住宅金融支援機構／(一社)埼玉建築士会／(一社)埼玉県建築士事務所協会



主催:



埼玉県住まいづくり協議会

こちらからもお申込み
いただけます